

2022～2023年度
越谷東ロータリークラブ

○ ○
委員会活動方針
年間行事予定表
年間プログラム予定表
○ ○

会場監督(SAA)

S A A：大野豊次

副SAA：岡崎愛子 大野祐肇

任 務

会場監督は、例会場の秩序と品格を保持する任務、その他通常その職に付随する任務を行う。

[方針・抱負]

会長要望に応えられますよう3名でしっかり務めさせていただきます。

会 計

会 計：小暮進勇

任 務

会計は、本クラブの資金をすべて管理保管し、毎年2回及び理事会の要求があったときその説明をする任務、その他通常その職に付随する任務を行なう。会計が退任するときは、保管するすべての資金、会計帳簿、その他あらゆるクラブ財産を、その後任者若しくは会長に引き継がなければならない。

[方針・抱負]

前任者からしっかりと引き継ぎを受け、幹事、事務局、そして経理業務を委託している税務法律事務所と緊密な連携を取りながら、会長要望に沿った管理に努めます。

会計監査

会計監査：阿部朋博

任 務

会計監査は、会長・会計より報告された当該年度の予算、決算執行を厳密に監査することにある。

[方針・抱負]

会長要望を踏まえ、会計処理が適正に行われているかを検証させていただきます。

会員増強部門

委員長：山崎勝己

小委員長：加藤盛也 宮下智之 山崎勝己

任 務

この部門は、クラブ活性化・強化の為、出来る限り若く明るく、優れた人材を増強すると共に新入会員のオリエンテーションまた、現会員の退会防止を考案、実施することを任務とする。

[委員会方針・抱負]

会長要望をよく理解し、クラブビジョン「選ばれるクラブ」になれるよう、魅力的で有意義な時間を共に過ごせ、仲間意識を常に持ち、勧誘委員会・会員選考維持委員会・オリエンテーション教育委員会及び親睦友愛委員会と連携、協力し邁進いたします。

会員増強部門
《勧誘委員会》

委員長：加藤盛也

副委員長：小林 充

委員：岡崎愛子 出口 昇

任 務

この委員会は、絶えずアンテナを高く持ち、現会員の協力などを得ながら、会員選考維持委員会と連絡を密にとり、会員候補者を理事会に推薦するよう積極的に努めると共に有効な退会防止策を考案し、実施する。

[委員会方針・抱負]

勧誘委員会では、現クラブメンバーと共に積極的に活動できる地域の若いリーダーへクラブの魅力を伝える声掛けをしていきます。

特に活躍する女性リーダーの発掘には、全会員がアンテナを高くして情報を収集し、会員一人一人が会長要望に応える気持ちを持ってもらえるように努めます。

現会員の退会防止に対しては、クラブ内の分断を排し、共通の目的意識を共有できるように各委員会と協力していきます。

また、入会年数の浅い会員とカウンセラーから、入会後の活動に対する意見を汲み上げ、問題点を探り、増強と退会防止をテーマとするフォーラムに生かしていきたいと考えます。

会員増強部門

《会員選考維持委員会》

委員長：宮下智之

副委員長：田中基章 隅田 敏

委員：

任 務

この委員会は、会員候補者として推薦された者について、職業分類と会員資格を調査し、理事会に報告しなければならない。またこの委員会は、毎年度できるだけ早く地元の地域社会の職業分類調査を行い、充填、未充填の職業分類表を作成しなければならない。必要な場合は、現会員の有する職業分類を見直すことができる。

[委員会方針・抱負]

- ①職業分類表を作成し、未充填の職業分類を勧誘委員会を通して理事会に報告いたします。
- ②推薦された会員候補者について、職業分類と会員資格調査を行い理事会に報告致します。
- ③会員の「増強」と「維持」をテーマにしたフォーラムを勧誘委員会と協力して開催致します。

会員増強部門

《オリエンテーション・教育委員会》

委員長：山崎勝己

副委員長：五十嵐久幸

委員：加藤盛也

任 務

この委員会は、ロータリーの友誌などを使用して、会員に奉仕の心、奉仕の実践に関する情報を提供すると共に、すべての会員を対象とするロータリー研修会を年2回行なう。また会員候補者に対しロータリークラブの会員の特典と責務に関する情報を提供し、入会してから最初の1年間、新会員のオリエンテーションを実施する。さらに、公共イメージ委員会に対し一般向けのロータリー情報を提供する。

[委員会方針・抱負]

1. 第2例会にロータリーに関する情報及びロータリーの友の紹介を下記の予定で実施します。
山 崎 担当月（7月・10月・1月・4月）
五十嵐 担当月（8月・11月・2月・5月）
加 藤 担当月（9月・12月・3月・6月）
2. 全会員を対象に、ロータリー研修会として外部研修を含む炉辺会合を、年2回以上開催し、会員相互の理解と親睦を深める機会とします。（9月・1月・5月に開催予定）
3. 新会員及び入会3年以内の会員をメインに、ロータリー専門誌「これだけは知っておきたいロータリーの基礎」を配布し勉強会を開催し、ロータリークラブに早く馴染んでいただくと共に親睦を図れる場としたいと思います。

《公共イメージ委員会》

委員長：鈴木二之将

副委員長：南 千加江

委員：大内一幸 杉下 智 仁多見英一

任 務

この委員会は、広く一般に本クラブの奉仕の実践とロータリーの目的、その歴史等について、適切な宣伝を行う方策を考案、実施する。またこの委員会は、クラブ週報の刊行を通じて、会員のロータリーへの関心を促し、出席率の向上と親睦の増進に寄与するため、前回の例会の重要事項を報告し、次回の例会の重要プログラムを予告する。全会員の奉仕活動に関するニュースをロータリーの友誌などに投稿するよう努める。またこの委員会はITおよびSNSを利用し地区、クラブ等の情報をすべて管理し、これを速やかに関係各会員、各委員会等へ伝達するものとする。

【委員会方針・抱負】

- ①例会および各事業で週報担当者を決め、当日の週報データ（写真・原稿等）を収集します。
会員の皆様には、週報の原稿提出と締切厳守をお願いします。
- ②クラブのホームページを更新します。
- ③ロータリークラブの活動をホームページ・SNSなどを活用し、一般向けに情報の発信に努力します。また、毎年少しずつバージョンアップしている越谷市高校野球大会を社会奉仕委員会と連携し、メディア等も活用し、越谷市民への発信を検討します。
- ④マイ・ロータリーへの全会員登録に向け努力します。

クラブ管理運営部門

委員長：大野祐肇

小委員長：会田皓章 五十嵐久幸 宮本正行 秋山 坦 守屋トミー

任 務

この部門は、五大奉仕部門のうちの「クラブ奉仕部門」であり、親睦のうちに、クラブ内部に関する委員会活動を行い、クラブの各種機能を充実させるとともに、会員一人ひとりが自己を高め「奉仕の心を育成する」ことに関する包括的な立案と実施を任務とする。

[委員会方針・抱負]

奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものであります。未来、プログラム、親睦友愛、出席、会場運営の各委員会が連携して、「未来を創造し行動するかどうか」に関わりますが、クラブの活性化に向けて、フレンドリーなクラブを目指して活動して参りたいと思います。

クラブ管理運営部門

《未来委員会》

委員長：会田皓章

副委員長：高橋 功

委員：青木伸翁 大沢昌太郎 浜野隆浩 平野武志

任 務

この委員会は、クラブの発展のため、会員の研修方法の研究と提案をするものとし、研究、提案、検討に当たっては、広く会員の意見を聞き、その意見を反映するよう努めるものとする。

[委員会方針・抱負]

わがクラブは35周年を終え、40・45・50年とさらなる歴史を重ねより良いクラブとして発展が望まれます。そのためにはどうしたらよいのか。

5年後10年後のクラブのあるべき姿をしっかりと見据え準備し取り組んでいく必要があると思います。委員会として会長の要望を踏まえながら会員一人一人がわがクラブの未来のあるべき姿に対し真剣に学び議論する場の提供等行って行きたいと考えます。

未来に花咲く種は過去にある。古きを訪ね新しきを知る。「温故知新」まさにこれを未来委員会の基本として一年間活動してまいります。

クラブ管理運営部門
《プログラム委員会》

委員長：五十嵐久幸

副委員長：秋山 坦

委員：浅水輝子 株竹眞次 清村忠雄

任 務

この委員会は、本クラブの例会および臨時の会合のプログラムを準備、手配する。

[委員会方針・抱負]

会長要望を踏まえ、会員の職業卓話・外部卓話・フォーラム・会員個人で参加したセミナー、これらを取り入れた、会員の出席率向上につながるような内容を企画してまいります。そして出席した会員が、学ぶ時間と楽しむ時間を共有できるプログラムを目指します。

クラブ管理運営部門
《親睦友愛委員会》

委員長：宮本正行

副委員長：大野豊次

委員：青柳 聡 飯島 昇 飯山勝司 石渡 毅 榎本裕希
梶原直樹 鈴木一朗 鈴木二之将 竹内達也 村木龍男

任 務

この委員会は、親睦と奉仕は車の両輪の関係にあるとの理念の下、クラブ例会を会員同士が真の友情を結ぶ最良の場とするように努めると共に、会員間の交流と友情を増進させるための諸事業を企画し、会員にそこへの積極的参加を奨励し、実施する。

[委員会方針・抱負]

小林会長の要望にもあるように入会3年未満の会員にも積極的に参加を呼びかけ会員同士がイベントに参加できる企画を実施いたします。

コロナウィルスが終息したわけではないですが、規制がない限り親睦活動を行っていこうと思います。

クラブ管理運営部門

《出席委員会》

委員長：秋山 坦

副委員長：栗屋裕二

委員：栗田晴巳 富澤春男 中村 猛 野寄新吾

任 務

この委員会は、本クラブ例会への出席率を高め、例会に出席できない場合のメイクアップを積極的に奨励する。また、原因となる諸事情を調査し、可能な限りこれを除去するよう努める。

[委員会方針・抱負]

出席率の向上は例会内容の（充実）と会員出席の（管理）に有る・・・・・・・・・・・・・・・・

「委員会方針」

①例会は常時90%以上の出席率を目指す。

「出席率90%以上を目指す施策」

- ①会長挨拶等の内容に付いては要約して例会開催案内で予め告示する。(簡単に)
- ②理事・役員は例会には100%出席依頼、やむをえず出席出来ない場合は必ずメーカーアップするか代理を立てる。(管理シートを作成しフォローする)
- ③プログラム委員会に例会時に10年未満の会員の方の卓話を提案する。(プロフィールとか学生時代の思い出、趣味とか何でもOK、但し中身については予め例会案内に簡単に纏めて告示する) *卓話者順番については出席委員会で調整し作成する。
- ④会報には1年間を通しての月平均の出席率の推移をグラフで掲載し出席率の向上を図って行く。(公共イメージ委員会と調整)

「その他」

- ①例会時の出席担当者は輪番制とし（月単位）予めリストを作成する。(常時2人体制)
- ②毎回の例会案内には芭蕉の俳句奥の細道をイラスト入りで掲載する。

クラブ管理運営部門
《会場運営委員会》

委員長：守屋トミー

副委員長：永島つる子

委員：齊藤 敦 橋本政行 原 美光 平林照雅

任 務

この委員会は、例会、その他の会場の設営と司会進行を行う。

[委員会方針・抱負]

- ①例会がスムーズに進むための準備に努めます。
- ②例会がスムーズに進むための司会進行を行います。
- ③例会が楽しみになるよう、会員が事前にプログラムを把握できるよう努めます。
- ④例会日のドア当番を決めさせていただき、各会員にお願いしていきます。
- ⑤Zoomでの例会参加の会員がストレスなく、例会を楽しめるよう環境を整えていきます。

Zoom参加もいいのですが、やはり「会場に行きたい」「みんなと会いたい」という気持ちを持っていただける会場の雰囲気作りをしていきたいと思えます。

奉仕プロジェクト部門

委員長：佐久間 誠

小委員長：中村 猛 田中基章 宮下智之 畔上順平

任 務

この部門は、ロータリーに求められる地元の地域社会及び国際社会における職業上、人道上、教育上の各種ニーズに応える活動の企画と奉仕の実践を任務とする。

[委員会方針・抱負]

会長要望を実現するため奉仕部門4委員会は、奉仕を基礎として世界平和の実現を念頭に活動いたします。他人をおもいやり、他人のために役立つというロータリーの趣旨を尊重し、新型コロナウイルスの影響を受けた方々の希望となるような活動を活発にします。奉仕を通じて一人でも多くの方に幸せや感動を伝えられるよう会員全員で注力いたします。

奉仕プロジェクト部門 《職業奉仕委員会》

委員長：中村 猛

副委員長：橋本政行

委員：青木伸翁 株竹眞次 杉下 智 鈴木裕万 平野武志
平林照雅 南 千加江 山崎勝己

任 務

この委員会は、職業奉仕理念の情報を提供すると共に、本クラブ会員がその職業における諸責務を遂行し、各会員それぞれの職業における倫理水準をより一層引き上げるうえに役立つような方策を考案、実施する。

[委員会方針・抱負]

ロータリーの目的を基盤に職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものという認識を確認し、社会に奉仕する機会として各自の職業を高潔なものにするために、会員各々交流を深め職業奉仕理念を深めていきます。

具体的には、①例会で各会員が自分の職業について話し互いの職業について学び合う。②地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを活かす。③誇りをもって仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促していきましょう。

1. 第一例会に四つのテストとロータリーの目的を唱和します。
2. 職業奉仕をテーマとした職場見学会を実施します。
3. 毎月、会員各々の職業の理解を深める「会社創立卓話」を継続します。
4. 第8グループ合同事業には喜んで協力・参加をします。

奉仕プロジェクト部門

《社会奉仕委員会》

委員長：田中基章

副委員長：石渡 毅

委員：畔上順平 栗屋裕二 飯島 昇 榎本裕希 梶原直樹 小林 充
鈴木一朗 隅田 敏 竹内達也 出口 昇 永島つる子 村木龍男

任 務

この委員会は、本クラブ会員並びに本クラブが、地域の地域社会、次世代を担う青少年に対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案、実施する。

[委員会方針・抱負]

当クラブの柱の事業でもある社会奉仕事業を全会員の皆さまと共に意見を出し合い、協力して、会員参加型の社会奉仕活動を実施したいと考えております。

①スマイル

スマイル担当を委員メンバーで分担し、ハイブリット例会にも対応したスマイルをお伝えいたします。

②越谷市民まつり

本年度は、分散開催という通年になく開催のため、会員の皆さまの更なるご協力を得ながら、越谷東高校インターアクトクラブさんと大道芸交通遺児チャリティ募金活動を実施して参ります。

③第21回越谷市高校野球大会

長年培ってきた各参加高校野球部と越谷東RCの繋がりを引き続き大切にし、参加校プラスバンド部による開会セレモニーなどを企画実施いたします。また、より地域社会との繋がりがもてるような企画を検討して参ります。

④市内ごみゼロ運動

ここ数年コロナ禍で中止となっていた市内ごみゼロ運動ですが、開催できた場合には、越谷東高校インターアクトクラブの皆さん、会員の皆さまと協力して実施して参ります。

⑤地区補助金事業

5月の地区補助金大口枠プレゼンにて会員の皆さまのご協力により地区補助金大口枠が採択されました。ありがとうございます！知的障害・発達障害児童、生徒の放課後等デイサービスを提供している施設『Kids ドロップ』さんへ大型モニター等を寄贈いたします。

また、クラブの奉仕活動の一環としてボランティア参加を検討して参りますので会員皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

奉仕プロジェクト部門
《国際奉仕委員会》

委員長：宮下智之

副委員長：富澤春男

委員：会田皓章 青柳 聡 阿部朋博 大沢昌太郎 鈴木朝夫
仁多見英一

任 務

この委員会は、本クラブ会員並びに本クラブが、国際奉仕に関する事項においてその諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案、実施する。また、姉妹クラブとの交流を深めるため相互の連絡、調整を行ない、これに加え新しい交流先を模索する。また、本クラブに関係した、青少年交換留学生、米山奨学生、財団奨学生等のネットワーク作りをし、世界的親交を深め、国際親善と平和に貢献する。

[委員会方針・抱負]

新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、台中港北區扶社会長交代式及びメルボルン国際大会への参加を企画致します。

第8グループ合同事業（ポリオ根絶チャリティーライブ）に協力、参加致します。

奉仕プロジェクト部門
《青少年奉仕委員会》

委員長：畔上順平

副委員長：小暮進勇

委員：飯山勝司 栗田晴巳 清村忠雄 高橋 功 原 美光
宮本正行

任 務

この委員会は、埼玉県立越谷東高等学校インターアクトクラブを提唱クラブとして、本クラブの会員並びに本クラブが、次世代を担う地元の青少年、インターアクトクラブに対する諸責務を遂行するうえに役立つ指導と支援をして行く。青少年交換留学生が目的を円滑に達成するために、学校関係、ホスト・ファミリー関係等を支援する。本クラブに関係した、元青少年交換留学生、元米山奨学生、元財団奨学生等のネットワーク作りをし、世界的親交を深め、国際親善と平和に貢献すると共に、明日のロータリアンとしての会員増強に努める。

[委員会方針・抱負]

コロナ禍で接触が少なくなってしまった、越谷東高等学校のインターアクトクラブを中心に、次世代を担う地元の青少年少女に社会奉仕、地域貢献のきっかけとなるアクションを起こし奉仕と貢献の喜びの一端を感じてもらうことを実践します。次々世代のロータリアンの発掘と育成を大きな目的とし、将来の会員確保につなげます。

具体的には下記のアクションプランを検討致します。

- ①越谷東高等学校インターアクトクラブとの関係を再構築し、当クラブ例会への参加を促します。
また、先方の例会への出席も積極的に行い、コミュニケーションを図ります。
- ②市民まつり等、地域イベント等でのインターアクトクラブ活動支援を行います。
- ③越谷東高等学校インターアクトクラブと共に南越谷小学校の特別支援学級への支援プログラムを検討します。
- ④叡明高等学校との友好関係の中からインターアクトクラブ設立に向けたきっかけをつくります。
- ⑤国際奉仕委員会と協力しながら、奨学学友会フレンズの活動を支援し、例会への参加も促します。

《ロータリー財団委員会》

委員長：大内一幸

副委員長：齊藤 敦

委員：鈴木朝夫 鈴木裕万

任 務

この委員会は、資金的寄付と財団プログラムへの参加を通じ、ロータリー財団を支援する。

ロータリー月間に有意義な企画。

年次寄付目標

- ①クラブ会員一人あたり 200ドル
- ②ポリオ根絶 50ドル
- ③ベネファクター 2名（うち1名は新たな方） 1,000ドル以上

[委員会方針・抱負]

ロータリー財団の使命はロータリアンが（世界の人々の）健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。（国際ロータリー財団ハンドブックより）

本年度も、この抽象的な表現を出来るだけ会員皆さまに少しでも具体的な表現で表し、理解していただくことを目指していきたいと思います。

《活動計画》

1. 会員一人当たり年間100\$以上の寄付をお願いする。（自発的な寄付）定期的をお願いすることもあります。
2. 11月の「ロータリー財団月間」は元より、機会ある事にロータリー財団の基本的な情報を会報等に掲載して理解を深めていきます。
3. 本年度の寄付金額の一部が3年後の当クラブの活動に向けて申請することができるシステムです。つまり、寄付金のすべてがRIに行くのではなく「地区補助金」として一定の条件を満たすことにより還元されますので、我がクラブの中長期的な活動計画にも有効なプログラムと考えていきたいと思います。

《米山記念奨学委員会》

委員長：浅水輝子

副委員長：野寄新吾

委員：浜野隆浩 守屋トミー

任 務

この委員会は、資金的寄付を通じ、日本ロータリーの創立者米山梅吉翁の遺徳を継承するロータリー米山記念奨学会を支援する。

○米山記念奨学会の寄付金、会員一人当たり¥25,000を会員の皆様に寄付をいただけるように理解していただく。

[委員会方針・抱負]

米山記念奨学会は、日本のロータリー独自の奉仕事業であり、国際親善と世界平和に寄与するために始まりました。今日では半世紀以上の歴史を持つ日本最大の民間国際奨学事業となっております。本事業を運営するための財源はロータリー会員の寄付で成り立っています。当クラブにおいても、寄付はもとより、過去何名もの奨学生のお世話をしてきました。会員の皆様には、日本と国際社会の明るい未来のため、本事業へのご理解・ご協力をお願いいたします。

1. 会員一人当たり寄付金目標額25,000円以上

(普通寄付5,000円と特別寄付合計)

普通寄付 半期ごとに各クラブで決定した金額

特別寄付 任意でいただく寄付

個人寄付 法人寄付 クラブ寄付 下限上限はない

2. 本制度のご理解いただくため、卓話を企画する。

3. 奨学生の世話クラブとして、今年度に卒業を迎える張政さんとの交流を深めるとともに、カウンセラーや親睦友愛委員会と協力して卒業祝いの会を企画する。